

第 22 回堺市新型コロナウイルス対策本部会議議事要旨

日 時：令和 3 年 4 月 14 日（水） 午前 11 時 00 分～

場 所：堺市役所本館 3 階 大会議室

- 議 題：1. 本市の新型コロナウイルス感染症患者の状況等について
2. 今後の本市の対応について
3. 本市のワクチン接種の準備状況について
4. その他（保健所の体制強化について）

【開会にあたり市長より】

- ・現在の第 4 波の感染拡大の状況は、これまでとは次元が違っていると感じており、危機感を持っている。
- ・昨日、大阪府で新規陽性者数が 1,000 人を超えた。堺市でも感染経路不明者の増加が続いており、感染急拡大の傾向は続くと考えている。
- ・感染者を出さないということを改めて市民の皆様にも効果的に強く訴える必要がある。市として最大限できることについて、この場で議論したい。

【議題説明及び質疑】

1. 本市の新型コロナウイルス感染症患者の状況等について（健康福祉局長）

（※資料 1 参照）

（市長）

- ・4 月 1 日から行っている営業時間短縮要請は、今日で 2 週間となる。あわせて、8 日からは不要不急の外出自粛をお願いしている。これから出てくる結果を注視し、よく見極める必要がある。
- ・本市の感染者の傾向として、約半数は若い方であるが徐々に減少し、高齢者が増えつつある。
- ・基礎疾患がない 50 代であっても重症化するケースが出ているため、対策を考える必要がある。

2. 今後の本市の対応について（危機管理監）

（※資料 2 参照）

- ・人流抑制の観点から、市独自のお願いとして、ゴールデンウィーク期間中の旅行やレジャーの自粛を要請する。

（健康福祉局長）

- ・第 4 波の感染状況に鑑み、高齢者施設等に緊急的に医療用物資を配付する。

（産業振興局長）

- ・感染予防に取り組む飲食店への支援として、感染予防対策を目的とする物品購入を支援する。大阪府と同様に 4 月 1 日に遡って対象としたい。
- ・ゴールデンウィーク明けには詳細をホームページで公表する。

(中区长)

- ・地域から感染拡大対策に寄与したいとの申し出があり、職員がシンプルで分かりやすい啓発ポスターを作成した。地域の掲示板等に掲出してもらうことで感染拡大を抑える活動を始めている。

(市長)

- ・中区の取り組みは効果的。各区で情報共有し、迅速に取り組むこと。
- ・「宴会を伴う花見」という表現については、状況を踏まえて見直すこと。
- ・「レジャー」という言葉は、自宅での趣味活動も含まれる。曲解されない表現を検討するように。(会議後に「お出かけ」に変更)
- ・サージカルマスクは各施設では足りているのか。医療用物資に関して現場の声はどうか。

(保健所次長)

- ・サージカルマスクは、不足しているとは聞いていない。
- ・医療用物資については、高齢者施設との意見交換から足りないとの声があり、クラスターの予防の観点から今回の対応に至った。

(市長)

- ・飲食店支援については、詳細の公表がゴールデンウィーク明けでは遅すぎる。受付はゴールデンウィーク明けであっても、詳細は早急に示すこと。

3. 本市のワクチン接種の準備状況について (健康福祉局長)

(※資料3・4参照)

4. その他 保健所の体制強化について (健康福祉局長)

(※資料5参照)

(中区长)

- ・中区役所から応援要員として派遣している職員から、事務スペースの確保や電話などのインフラ整備について要望があった。

(市長)

- ・体制強化した人員が効果的に動けるように対応すること。

【閉会にあたり市長より】

- ・第4波における感染の急拡大がさらに広がれば、医療現場が逼迫し、ワクチン接種にも大きな影響をあたえる。市民の皆様への呼びかけは、具体的な行動変容に繋がらなければ意味が無い。発信するだけでなく、どうすれば効果的に伝えることができるか、各局(区)において検討するように。
- ・市民へ要請していることを、市職員が守っていなければ説得力がなくなる。また、職場内でクラスターが発生すれば市民サービスが低下するおそれがある。夜の会食を行わないことに加えて昼食時も黙食の徹底など、職員の感染予防について改めて徹底するように。
- ・今が重大な局面である。各局(区)においては危機感を持ち、臨機応変に対応できるように準備しておくこと。